



森主査 市企画室主査で岩見沢市地域公共交通活性化協議会の事務局。北海道開発局から岩見沢市役所に出向して現在2年目。職場環境が変わりながらも、引き続き奮闘中。

岩見 さわ子 専業主婦。夫、高校生の娘と中学生の息子の4人家族。気になると聞かずにはいられない行動派主婦。公共交通が気になり始めた今日この頃。今回も森主査に質問します。

大学と連携した交流プロジェクト？どこでやるんですか？
二つとも、であえる岩見沢2階のひなた広場で行います
2階のエレベーター前の、買い物をしてバスを待っている人や学生が休憩をしている場所ですか？
そうです。利用したことがあるとい方が多いのではないのでしょうか。岩見さんも利用したことありますか？
はい。実は、公共交通の説明を受けてから、まちなかに来るときはバスを利用しています。帰りのバスまでの時間をそこで過ごすことが多いです。同じバス待ちの人とおしゃべりしています
バスを利用しているんですね。それは嬉しいですね。この交流プロジェクトは、バスを待ちやすくする環境づくり、公共交通をより利用してもらうための取り組みです。学生や高齢者などのさまざまな世代の人が集まり、交流・ふれあいを楽しめる場や機会を提供することで、高齢者の外出機会の増加、まちなかの活性化につなげていきたいと思っています
その交流プロジェクトのこと、詳しく教えてください



まちなかに出よう！ 市民の足で



広報いわみざわ6月号でお知らせした岩見沢市生活交通ビジョン。岩見沢市地域公共交通活性化協議会が、市内の公共交通のあり方を検討し、策定したものです。
市は、この生活交通ビジョンの実現に向け、まちづくりと連携した、将来にわたって運行していくことができる公共交通の路線や、運行計画などの検討を進めています。
今月号は、まちなか(中心市街地)の活性化と連携した、新たな公共交通の取り組みを紹介いたします。

以前、生活交通ビジョンのことを勉強した岩見さん。岩見沢市地域公共交通活性化協議会の会議を傍聴したり、積極的にバスを利用したりと、公共交通に対する意識が変わったようです。今日は、あれから公共交通の話がどうなっているのかになり、事務局を訪ねてみました。

受講無料 申込不要 出入自由 まちなか公開講座

北海道教育大学岩見沢校で行われている、岩見沢市のことを広く学ぶ「地域プロジェクト」という講義をまちなかで開催します。岩見沢市のことを大学生と一緒に考えませんか。

日程	テーマ
12月7日(月)	自分の得意技でまちを盛り上げるには？
21日(月)	「スマイル」から考える高齢者福祉問題！
平成28年1月18日(月)	市内の「バス停」を自由に動かせるとしたら？
25日(月)	「学生」「市民」の目線から市内バス路線を考える！

時間 午後1時～2時
場所 であえる岩見沢2階「ひなた広場」(4西3)

一つ目は、北海道教育大学岩見沢校の協力を得て、こんな取り組みを考えてみました

大学の講義が聞けるんですか？それはぜひ行ってほしいです。大学の講義を聞く機会はなかなかないと思います。実は、今、教授と打ち合わせをしていたので、内容を教えてもらいました



北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツビジネス専攻 宇田川 耕一 教授

岩見沢校の宇田川耕一です。私もひとり、曾田雄志、2人の教員で2回ずつ担当します
どんな内容になるのでしょうか？

大学内で行っている授業を学生ごとそのまま引越します。教員が一方的に話すのではなく、集まって下さった市民の皆さんとも一緒に、まちづくり、バス停やバス路線、高齢者にやさしい公共交通といった身近なテーマで語り合つのが中心です
学生にとっては、どんなところが学習になるのでしょうか？

「地域プロジェクト」という講義名のとおり、地域に根を張つた活動が学生には求められます。やはり大学の地元である岩見沢市街に、実際に足を運ぶことが第一歩です
市民との交流も重要なのですかね？

そのとおりです。岩見沢市在住の学生だけではなく、全国各地から集まった学生が、「まちなか」で市民の皆さんとも交流して、実際に空気を

前にお聞きした公共交通ですが、何か新しい取り組みはありますか？

前回説明した、生活交通ビジョンの四つの基本方針を覚えていきますか？

ごめんなさい。ちょっと覚えていないですね

では、復習しましょう。生活交通ビジョンの基本方針です

- コンパクトな都市を形成する公共交通網の再構築
- 地域特性を考慮した効率的で持続可能な公共交通体系の構築
- 市民生活の質の向上に資するバスサービスの提供
- バス交通の利用促進策の展開

公共交通と連携したまちなか交流拠点

まずは、「コンパクトな都市を形成する公共交通網の再構築」に関する取り組みです

少し思い出しました。既存の施設を活用したまちなか交流拠点をつくるってありましたよね

はい。今回、試験的な取り組みとして、大学と連携した二つの交流プロジェクトを計画しました

吸って体感する。それで、岩見沢が好きになって、卒業後に就職することにもつながるかもしれません
受講無料・申し込みも要らないということですが、本当にふらっと寄つてもいいんですか？

ええ、何も準備は必要ありません。手ぶらで来ていただいて、途中で出たり入ったりも自由です
講座の中身について、詳しく知りたくなってきました

例えば、一回目は学生や市民の皆さんにカードを3枚配ります。そこに自分の「得意技」、そうですね、私なら何人かで居酒屋に行つても、計算せずにお勘定が大体わかるなど、なんでも良いのです。それを書いてもらいグループごとに1枚ずつ全員で見せ合つて、その場で架空の「会社」を作つて、まちを盛り上げるアイデアを出して発表し合つ、そんなゲームのような講座になります
楽しそうですね。専業主婦の私も、その立場を活かして参加できそうですね

大歓迎です。4回ありますから都合のつくときに岩見さんもぜひ参加してください
教員・学生一同お待ちしております



自分の住んでいるまちのことを学ぶことは大切だし、学生と一緒にというのが楽しそうです。友達を誘って参加しますね。ぜひ、お誘い合わせのうえ、気軽にお越しください。

二つ目はどんな交流プロジェクトですか？

もう一つは、北海道大学の協力を得て、コミュニティカフェをつくらうと思っています。

コミュニティカフェって何ですか？

地域社会の中で、たまり場「居場所」になっているところの総称です。市民の皆さんの出会いと交流の場、情報発信の拠点、環境や福祉などの問題解決の場として注目されています。協力していただける北海道大学の学生の皆さんに話を聞いてきました。

バスを待つだけじゃなく、買い物ついでや用事を足した帰りなど、自由に休憩、交流ができるんですね。いろんな人が集まって交流できたら楽しそうですよね。

交通空白地域における新たな公共交通試験運行

次は、地域特性を考慮した効果率的で持続可能な公共交通体系の構築に関する取り組みです。交通の空白地域があるって言うって問題ですか？

そうです。自宅の近くにバスやJRなどの公共交通がない交通空白地域を解消するため、岩見沢市乗合タクシーを11月24日から試験的に運行しています。

その交通空白地域ってどこなんでしょうか？

今回は、峰延町、大願町、北村大願、北村中小屋にお住いの方を対象としています。自宅から対象地区内の方と乗り合いし、まちなかの停留所までの生活の「足」を確保するための試験運行です。

それは、それぞれ目的は違うけど、まちなかに行くということころは共通だからですね。

はい。ここで、対象地区の声を聞きましたので紹介しますね。



バスやJRといった公共交通機関がない地域は、農家が多く、後継者不足や高齢化が進んでいることが多いと思います。5年、10年後を考えたとき、今は車を運転しているけど、運転が怖くなり、運転をしなくなる人が出てきます。

その中で、このような乗り合いタクシーという取り組みは、600円で帰ってこれるので、とてもありがたいと思っています。今回は、試験運行ということで、予約に関することや、行き先、運行時間など、いろいろ問題が出てくるでしょうが、今後も将来的なことを考えて検討してもらいたいですね。

なるほど。やっぱり将来のことと考えると、公共交通はとても重要だということが改めてわかりました。この乗り合いタクシーは、であえーる岩見沢でも乗り降りできるんですね。乗合タクシーを利用したら、まちなかに出かけやすくなりますね。

はい。岩見沢市乗合タクシーを利用して、まちなか公開講座やコミュニティカフェも、ぜひ利用してほしいです。今後は、ほかの基本方針に対する取り組みも進めていきます。

交流プロジェクトと乗合タクシーで、まちなかが賑わって

岩見沢市乗合タクシーの試験運行

対象者 峰延町、大願町、北村大願、北村中小屋にお住いの方

運賃 片道300円
保護者同伴に限り、未就学児は無料。

運行期間 平成28年1月25日(月)まで
日曜日、祝日、年末年始を除く。

まちなかの停留所

- 市立総合病院前
- JR生鮮市場前
- JR岩見沢駅前
- であえーる岩見沢前
- コープさっぽろ岩見沢東店前
- 北海道中央労災病院前

利用者 岩見沢地区ハイヤー協会(日の出交通(株)、岩見沢小型ハイヤー(株)、岩幌交通(有))



市は、これらの試験的な取り組みを踏まえ、地域公共交通活性化協議会で議論を進めます。そこで、中心市街地の活性化と連携した公共交通のあり方を検討し、持続可能な公共交通の構築を進めていきます。

問合せ先 市企画室



コミュニティカフェ

北海道大学の学生が常駐して、さまざまな世代の人がたくさん集まり、ゆっくりと楽しみながらバスを待ったり、時間を過ごしたりできる、交流拠点・たまり場をつくりまします。学生や他の人とおしゃべりをしたり、ゲームをしたり、親子連れやお年寄りなど、どなたでも休憩することができます。

地域の憩いの場で、大学生と楽しくおしゃべりしてみませんか。

期間 12月8日(火)～20日(日)
午前11時～午後4時30分

場所 であえーる岩見沢2階「ひなた広場」(4西3)

きっかけは？

最近、車で買い物に行き、電車やバスに乗らなくなり、買い物もインターネットで済ませるなど、地域のつながりが薄くなってきていると思うんです。そういう生活を続けていると、周りの人とお話しすることが減るんです。常に人と話すことができる生活が、いきいきとした老後につながると思います。注目したのがコミュニティカフェです。

期待すること

10分だけでも、一日中過ごしていただいても構いません。楽しんでいってくださった人が、数日後に数人の友達と来てくれて。そういう口コミが一番大事なんです。買い物ついでに来ていたのが、コミュニティカフェを目的にと変わってくれれば嬉しそうです。

将来的には

わたしたちは札幌の大学なので、岩見沢に行きつづけていくのは難しいと思いますが、地元の人を引き継いでくれたら嬉しいですね。

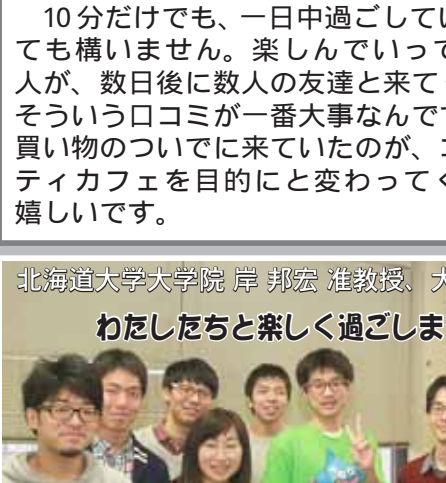
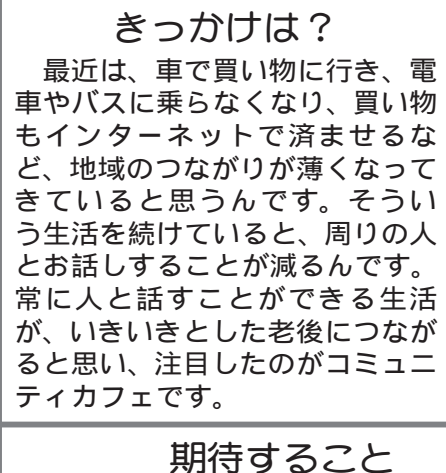
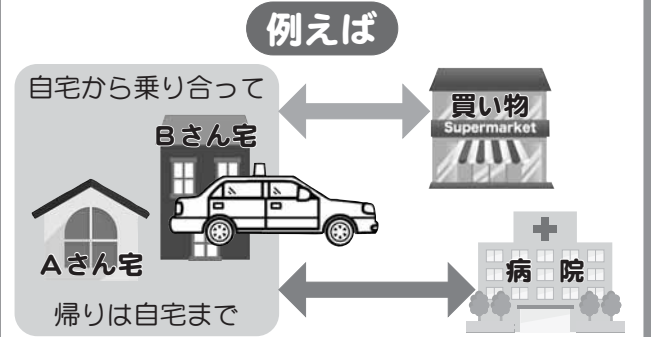
わたしたちもいろいろ教わるがありますし、わたしたちもいろいろ教えます。そういう場になればと思っています。

利用方法 利用日の前日までに予約が必要です。予約はとても簡単です。安心してお電話ください。

時刻表

出かけるとき		帰るとき	
自宅出発時間	まちなか到着時間	まちなか出発時間	自宅到着時間
7:30 ~ 8:00	8:10 ~ 8:20	11:00 ~ 11:10	11:20 ~ 11:50
9:10 ~ 9:40	9:50 ~ 10:00	14:40 ~ 14:50	15:00 ~ 15:30
12:30 ~ 13:00	13:10 ~ 13:20	16:30 ~ 16:40	16:50 ~ 17:20

申込先 岩見沢小型ハイヤー(株) ☎22局4500



コミュニティカフェ

わたしたちもいろいろ教わるがありますし、わたしたちもいろいろ教えます。そういう場になればと思っています。

バス待ち時間、ちょっと寄ってみませんか？

楽しいイベント

まちなか公開講座とコミュニティカフェが行われる、であえーる岩見沢の「ひなた広場」

北海道大学大学院 岸 邦宏 准教授、大学院工学院と工学部の学生の皆さん

わたしたちと楽しく過ごしましょう！お待ちしております！